



文化博物館だより 第216号

2008年6月4日

みなさん、こんにちは。傘が必要な季節になりましたね。作陶展は、会期を半分過ぎました。

ギャラリートーク

5月24日(土)に『小倉健 作陶展』の、翌25日(日)に『三田焼展』のギャラリートークが行われました。『作陶展』は、出品作家である小倉健氏が作陶に苦心した点や釉薬、温度などについて説明されました。「夕陽」という作品は大作で特に作るのが難しかったこと、能登や京都など旅先で出会った風景や庭先の身近な風景から受けた感動を作品に表現したことなどを話されました。

『三田焼展』は、三田焼研究保存会の善入達甫(ぜんにゆう たつお)氏が講師です。展示品の細かな部分をポインターで指しながら示し、三田焼の技術の高さを解説されました。参加された方はしゃがんでじっくり眺めたり、お開きになった後も質問を投げかけたりしていました。

小倉健氏によるGTの様子



善入氏によるGTの様子

両日とも約1時間以上をかけて、じっくりと解説を楽しんでいただきました。小倉先生は、会期中、展示室に来られていることもありますので、運がよければ、ご本人にお会いできるかもしれません。いらっしゃらない時にも、神戸新聞に掲載された随筆の記事がパネル展示されています。先生の文章とそこに登場する作品を、どうぞお楽しみ下さい。

6月のイベント・空き状況

十二単などの着付・はた織体験・布ぞうり作りが、今月も行なわれます。1日からの受付で布ぞうり作りは、すでに定員に達しています。はた織体験は、25日午前10時~12時に館にお越し下さい。着付は、以下のものがまだ空いています。

14日 午後2時・・・鎧(衣冠)

19日 午後10時半、11時10分・・・各回の十二単、鎧(衣冠)とも

22日 午後2時40分・・・鎧(衣冠)

お申込みはお電話で。電話：078-918-5400〔午前9時~午後6時〕

博物館では、トライやるウィークで中学生たちが職業体験に来ています。後日、その様子もお伝えしますね。